

中耳炎について

中耳炎とは、鼓膜(こまく)の奥に炎症を生じる疾患です。代表的なものに急性中耳炎があり、幼少期に経験された方も多いかと思えます。そのほか滲出性(しんしゅつせい)中耳炎、慢性中耳炎、真珠腫性(しんじゅしゅせい)中耳炎などがあります。下記に、それぞれの疾患について説明します。

中耳炎の種類	
急性中耳炎	
症状	風邪などで黄色い鼻水が数日続いた後に耳痛で発症することが多いです。
治療	痛い時には、少し様子を見ても自然に軽くなることも多いですが、手持ちの解熱鎮痛薬(幼児なら坐薬)があれば使用しても良いと思えます。中耳炎の程度によって抗生剤を投薬します。高熱や鼓膜の腫れが強い場合に鼓膜切開し膿を出すこともあります。
滲出性中耳炎	
症状	中耳の分泌液は耳管を通して鼻の奥の上咽頭といわれる場所に排泄されますが、耳管の通りが悪くなると中耳に分泌物が溜まって難聴を生じます。原因として風邪、鼻の炎症、上咽頭癌などがあります。
治療	原因疾患の治療を行いつつ、耳管を通して耳に空気を送ったり、鼓膜に針を刺して貯留液を吸引除去したり、鼓膜にチューブを入れて中耳に空気が入るようにします。
慢性中耳炎	
症状	中耳炎を繰り返すことで生じ、多くは鼓膜に穴が開いており、難聴や耳漏を認めます。
治療	耳漏に対しては抗生剤の投薬や耳の洗浄をします。聴こえの改善や、耳漏を止める目的で手術(鼓室形成術)を行います。数週間の入院治療が必要になるため、患者さんと相談しながら手術については行っています。
真珠腫性中耳炎	
症状	多くは中耳炎を契機に鼓膜が窪みそこに垢が溜まり拡大することによって生じます。鼻すすりが原因であることや先天性のものもあります。難聴、耳漏が一般的な症状ですが、進行したものでは、顔面神経麻痺、めまい、髄膜炎などの重大な症状が出現することもあります。
治療	真珠腫を取り除くため鼓室形成術が必要です。

どの中耳炎でも、早期診断、治療が重要であり、疑われる症状がありましたら、耳鼻いんこう科に受診されますようよろしくお願い致します。



(耳鼻咽喉科診療部長 飯田 英基)

